

2010年10月8日
日本郵政株式会社

特別展「年賀博覧会」の開催

～ツタエマス。オメデタイキモチ。オメデタイカタチ。～

開催期間 / 2010年11月27日(土)～平成23年1月30日(日)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合翌火曜日)及び12月29日～1月3日、1月11日

場所：逓信総合博物館 / 主催：日本郵政株式会社郵政資料館

逓信総合博物館(所在地：東京都千代田区大手町2-3-1)では、2010年11月27日(土)から2011年1月30日(日)まで、特別展「年賀博覧会～ツタエマス。オメデタイキモチ。オメデタイカタチ。～」を開催します。

本展では、歴代の年賀用切手や小倉遊亀、片岡球子ら日本画の巨匠が原画を手がけた「絵入り年賀はがき」をはじめ約500点の様々な年賀に関する展示を通して日本における“年賀の風習”を紐解きながら年賀状のデザインの歴史と文化を振り返ります。

併せて、来る卯年にちなみ「うさぎ年賀コーナー」をオープン。

そのほか、消しゴム版画や絵封筒の年賀状教室、卯年年賀状コンテスト等、参加型の各種イベントを実施し、年賀状の情報が一堂に集まる展示&イベントを実施します。



卯年年賀状(大正4年・昭和14年)

著名な日本画家が手がけた「絵入り年賀はがき」

絵入り年賀はがき：(左上)森田曠平(献寿)昭和58年用 / (右上)小倉遊亀「紅梅」昭和59年用

(左下)片岡球子「富士」昭和61年用 / (右下)上村松篁「うさぎと梅」昭和62年用

展示内容

約500点の年賀に関する収蔵資料を一挙公開！（秘蔵の切手・はがき原画も展示）

【年賀×始】・・・ハジマリノカタチ。

日本における「年始のあいさつの始まり」について歴史を紹介。

【年賀×学】・・・ヒロガリノカタチ。

江戸時代の一般庶民に広がりを見せる年始の習慣、手紙文化を紹介。

【年賀×美】・・・ウツクシノカタチ。

江戸から大正期までの吉祥文様を表わした年賀用封筒などを紹介。

【年賀×新】・・・アタラシノカタチ。

明治6年から始まった“はがき”による年賀状の始まりを紹介。併せてバリエーション豊かな年賀はがきを展示いたします。

年賀切手、お年玉くじ付年賀はがき等に関する収蔵資料

著名人の年賀状

昭和24年用お年玉くじつき

年賀ポスター等の周知宣伝物 など

年賀郵便のポスター(右)



【年賀×卯】・・・ウサギノカタチ。

来年の干支「卯」にちなんだうさぎの切手、卯年の年賀状などを紹介。

関連イベント

手づくり年賀状教室

本格的なものから身近にあるものでできる手軽なものまで“手づくり”をテーマにした各種教室を開催。来年の年賀状づくりに生かせる年賀状教室を実施します。

【実施内容・日時】

年賀消しゴム版画教室 2010年11月27日(土)・28日(日) 13:00～15:00

年賀絵封筒教室 2010年12月4日(土)・5日(日) 13:00～15:00

年賀字手紙教室 2010年12月11日(土)・12日(日) 13:00～15:00

年賀コラージュ教室 2010年12月18日(土)・19日(日) 13:00～15:00

【その他】小学生以上/各回20名

座談会「卯年サミット“集まれ！卯年人”」

卯年生まれの参加者が集まり、「私が子どもだったころの正月風景&年賀状の思い出」をテーマに世代間で異なる正月過ごし方や年賀状の思い出を振り返る座談会を開催します。座談会では、当館収蔵資料や写真資料に残る懐かしい年賀状や年賀広告なども紹介しながら進行。その模様を1月7日(火)パネル展示とHPで紹介します。

【実施日時】2011年1月8日(土) 13:00～15:00

【展示期間】2011年1月7日(火)～1月30日(日)

【内容】1階特別展示場内併設コーナーで「卯年サミット パネル展示」に併せて来館者の方に年賀状の思い出を残してもらう「年賀の思い出 メッセージボード」も設置します。

“自分に宛てて年賀状を書こう！” 年賀状ワークショップ

「将来の自分（例えば12年後の自分）」「目標」「幸せな思い出」などをテーマに、絵と文字で自分に宛てて年賀状を作成するワークショップです。

【実施日時】会期中毎日 9:00～16:30（16:00で受付終了）

【場 所】1階特別展示場

“卯年”年賀状コンテスト

卯年にちなみ、“うさぎ”をテーマにした年賀状コンテストを開催します。封書、はがき、おもしろ郵便など自由な形式の作品を募集。1月4日（火）からは応募作品を特別展示場で展示いたします。

【展示期間】2011年1月4日（火）～1月30日（日）

【場 所】1階特別展示場

【選 考】 日 時：平成22年12月27日（月）13:00～16:00

賞の設定：博物館選考 館長賞（1本）/うさぎ賞（3本）

選考基準： 館長賞/ウィットに富み且つ美しい姿を有するデザイン。

うさぎ賞/ポストを開けたときにハッとさせるデザイン。

詳細（各イベントの募集要項等）は、当館HPイベントスケジュール(<http://www.teipark.jp/event/event.html>)をご覧ください。

以上

通信総合博物館(ていぱーく) 概要

住 所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1

アクセス：地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ

東京メトロ：丸の内線、半蔵門線、東西線、千代田線

都営三田線

JR「東京駅」下車丸の内北口より神田方面へ徒歩10分

入館料：個人 大人110円/小・中・高校生50円

団体（20名以上）大人50円/小・中・高校生25円

（小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料）

休館日：月曜休館（月曜祝日の場合は火曜休館）年末年始

会館時間：9:00～16:30（入場は16:00まで）



通信総合博物館は1902(明治35)年、万国郵便連合(UPU)加盟25周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100年以上の歴史を誇る博物館です。

当館は、日本で唯一の「情報通信関係の総合博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信・放送の各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。現在は、日本郵政株式会社・東日本電信電話株式会社・日本放送協会が共同で運営しています。

【お問い合わせ先】

日本郵政株式会社郵政資料館

電話：(03)3244-6821

担当：井村